

令和3年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」  
(2)教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果②教職員研修プログラムの構築



# 学習評価（非認知能力）研修プログラム



令和3年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」  
(2) 教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果②教職員研修プログラムの構築

# 学習評価(非認知能力)研修プログラム

# 目次

授業前のお願い .....	7
<b>1 時間目 .....</b>	<b>9</b>
1. はじめに .....	12
2. 本日の目的・目標・構成 .....	23
3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく .....	27
4. 教育改善に非認知能力の観点を活かしていく .....	37
5. 社会的評価の向上に非認知能力の観点を活かしていく .....	41
<b>2 時間目 非認知能力の抽出・分類・構造化 .....</b>	<b>47</b>
1. はじめに .....	50
2. 育成する人材像から非認知能力を抽出することの意味 .....	54
3. 学科で育成する非認知能力の抽出・分類・構造化の方法を知る一事例紹介を通して .....	61
4. 非認知能力の抽出と分類に関するワーク .....	77
5. ワークの共有と解説 .....	88
6. 人材像、能力像の設定の先にあるもの（まとめ） .....	89



専修学校教育の質保証・向上を進めるために必要な教職員  
研修プログラム開発事業（2021年度）

## 非認知能力の観点から人材像の 設定を進めるためのポイントとは



## 授業前のお願い

研修では、双方向性を担保するためにチャット機能  
を用います。

以下のQRコードで、LiveQにアクセスください。

QRコード貼り付け







非認知能力の観点から人材像の  
設定を進めるためのポイントとは

# 1 時間目



# 1 時間目の構成

1. はじめに
2. 本日の目的・目標・構成
3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく
4. 教育改善に非認知能力の観点を活かしていく
5. 社会的評価の向上に非認知能力の観点を活かしていく

# 1. はじめに

## 1. はじめに

# 研修プログラム開発事業について

## ○文部科学省委託事業

令和3年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」

## ○事業概要

「専修学校教員の質保証・向上を進めるために  
必要な教職員研修プログラム開発事業」

## ○事業主体

全国専門学校教育研究会

1. はじめに

## 講師自己紹介

※当日の講師紹介のページとなります

1. はじめに

## 導入：専門学校教育の「強み」とは？

研修をはじめるにあたって...

「専門学校教育の『強み』とは？」

この問いに、あなたならどう答えますか？

※3分間とりますので、LiveQに回答ください。

1. はじめに

## 専門学校「強み」の諸側面

### <教育制度上の「強み」>

自由なカリキュラム・授業開発（非資格系）  
柔軟な学科・コース設定

### <多様な社会的ニーズへの対応という「強み」>

若者文化・消費文化へのアプローチ  
新しい職業ニーズへの対応

### <教育内容・教育方法の「強み」>

職業を目的とした教育・学習  
職業を通じた（手段とした）教育・学習

本日の研修で焦点  
を当てる「強み」

### <教育対象の「強み」>

リカレント教育・成人の学び直し 留学生教育  
青年期教育（とくにノンエリート層）

9



1. はじめに

## 職業教育の強み：専門的知識や資格取得の側面

一般的にイメージされやすいのが...

### 1. それぞれの職業に必要な専門的な知識・技能



美容師

カット、シャンプー  
セット、カラーリング



調理師

調理技法、調理知識  
衛生知識等

### 2. それぞれの職業に必要な資格取得等



美容師

美容師資格の取得



調理師

調理師資格の取得

1. はじめに

## 職業教育の強み：それ以外の側面の重要性

一方で、あまりイメージされにくいものとして...

### 1. 実践的に求められる非認知能力

本日の研修で焦点  
を当てる「強み」

### 2. 職業人として必要な価値観

### 3. 学習意欲の回復

専門学校生が獲得し、教員側も重視していること。  
様々なデータでも裏付けがあり、専門学校ならではの「強み」となっている。

## 1. はじめに

# 聞き取り調査から一様な価値観の形成 ファッションデザイナー科卒業生

### クリエイターとしての価値観

洋服のデザインや素材、パターンの多様な在り方や進化を把握し判断する。

### デザイナーとしての自己認識

自分は何を創り出したいのか、誰のためのどのような服を生み出したいのか。自己認識。

### ビジネス的価値観

どのような商品にニーズがあるのか、どのようなマーケットをねらうのか。



### 労働者・生活者としての価値観

仕事への向きあい方、金銭感覚、家族形成、自身の生活やキャリアプランなど。

業界や職場で必要とされる共通した価値観、異なる価値観。  
それらをふまえて、自分なりの価値観を形成していくことで、職業人としてやっていくことができる。

## 1. はじめに

# 専門学校生の学習意欲の向上

ベネッセ教育総合研究所  
「専門学校生の学習と生活に関する実態調査」 (2017年)

**関心・興味： 高校時代と比べて学びに対する態度が積極的に**

【高校時代を振り返って】

「授業に関心・興味をもてなかった」

46.9%

→

【現在】

「授業に関心・興味をもてない」

**33.1%**

**【-13.8p】**

※「とても+まああてはまる」の合計%

### 【参考】

調査の条件が異なるので単純には比較できないが、大学生を対象にした調査では、「（高校時代）授業に関心・興味を持てなかった」（とても+まああてはまる）は 46.8%、「（現在）授業に関心・興味を持てない」（よく+たまにある）は 68.7%であった。

\*ベネッセ教育総合研究所「第3回大学生の学習・生活実態調査」2016

1. はじめに

## 聞き取り調査から—学習意欲の回復について



専門学校で初めて、生きている実感があるんです！

高校までは評価されてこなかった自分の性格も、「個性」として評価してくれて自信に！

自分が親しんできた消費文化領域・職業世界で学ぶことの喜び  
多様な個性を認める学習空間

1. はじめに

## 「強み」が理解されていない？

職業教育としての「強み」を多面的にもつ専門学校

しかしながら、一面的な理解がされがち。

「専門学校って資格対策ばかりしているイメージがありますね。」

「専門的なスキルは高そうだけれど、応用が利かないのでは。」

学校教員や一般の人はほとんど、理解していない。  
専門学校教員自身も正確に把握できていないことが多い。

→ 「強み」を言語化し教育全体に反映していく必要

## 2. 本日の目的・目標・構成

## 2. 本日の目的・目標・構成

# 本日の目的

## ○対象の焦点化

「強み」を言語化し教育全体に反映していく必要

- ・ 「強み」としての非認知能力の養成に着目
- ・ 教育の起点となる人材像の設定に焦点化

## ○本日の目的

研修全体で、人材像の設定と非認知能力の関係性の認識、ならびに、それらの具体的な方法を身につけることを目的とする。



## 2. 本日の目的・目標・構成

### 本日の構成

< 1時間目（60分） >

**非認知能力の観点で専門学校教育の  
「強み」を明確にしていくということ**

< 休憩 >

< 2時間目（110分） >

**人材像の設定に  
非認知能力の観点を活用する利点と方法  
～非認知能力の抽出・分類・構造化～**

## 2. 本日の目的・目標・構成

### 1時間目の目的・目標

#### ○目的

研修を通して、非認知能力を活用していくこと、学ぶことを、納得してもらうことを目的とする。

#### ○目標

- ・ 非認知能力についての基本的な知識を得る。
- ・ 専門学校教育の「強み」を非認知能力の観点から明確にしていくことができること、そのメリットを理解する。

### **3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく**

3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく

## 非認知能力という観点から見ていく

3節では、非認知能力の基本的な知識をおさえながら、そうした観点で専門学校教育や、そこで成長していく学生を見ていくことの意義や効果を見ていきましょう。

### 3節の内容

- ・ 非認知能力とは？
- ・ 非認知能力の観点から能力・成長の多面性を把握するということ
- ・ ここまでの質問と感想

### 3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく

## 非認知能力への関心の高まり



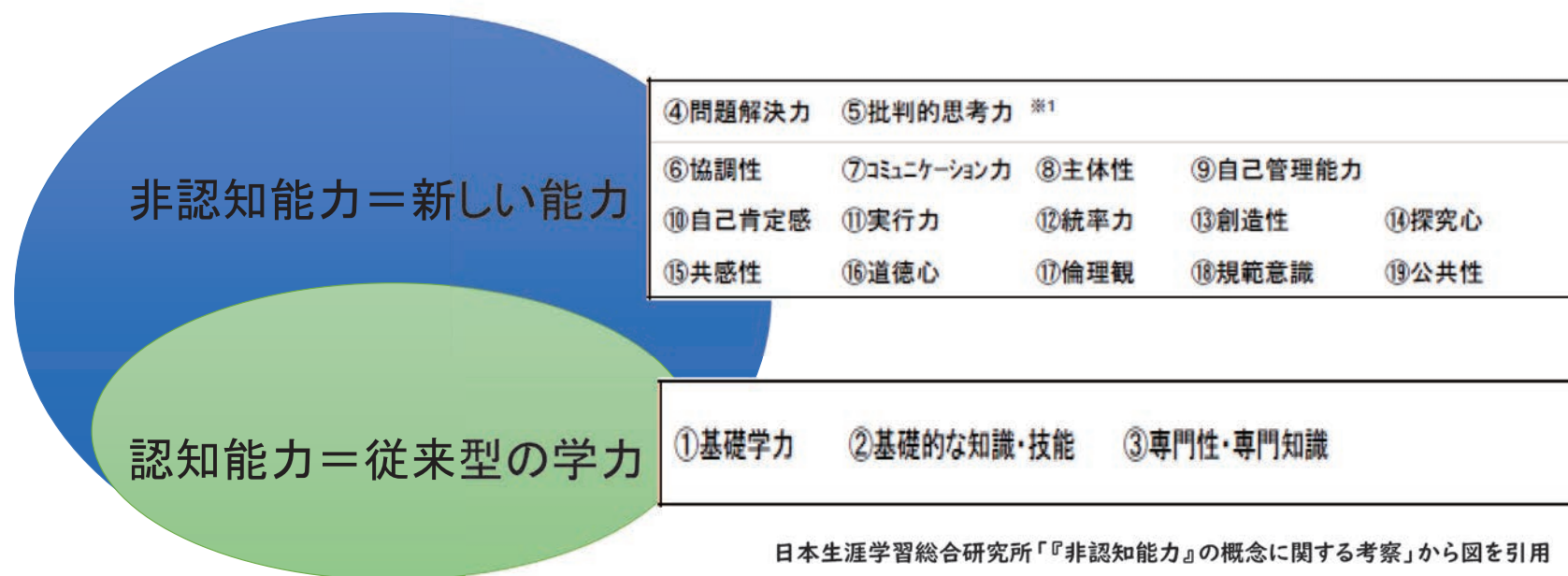
- 2010年代から、教育業界において着目を集めている概念
- 急激な社会変容に対応するための「新しい能力」の必要性
- 「学力」などの認知能力に対する概念として注目されてる

### 3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく

## 非認知能力とは？

**認知能力**：基礎学力や基礎的な知識・技能、専門知識などの測りやすい・数値化しやすい能力を認知能力

**非認知能力**：なかなか言語化しにくい・測りにくいが現場で重要視されていたり、今後の社会変容の中で重視されていく能力

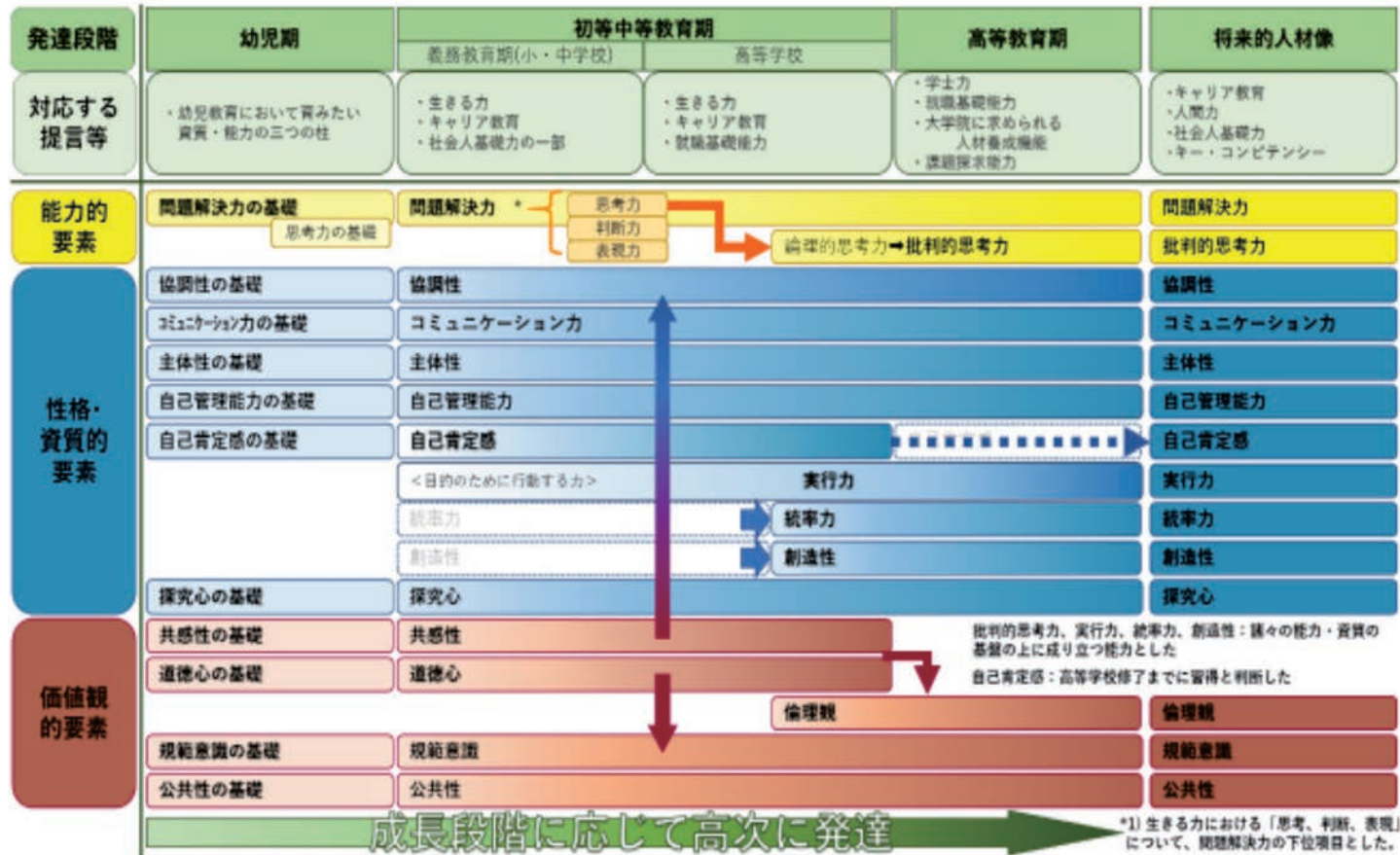


※なお、非認知能力の表現の仕方は多様で、上記に示したものの以外もあります。

3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく

# 非認知能力とは？

## 各発達段階に応じて要求される非認知能力の要素



※日本生涯学習総合研究所「『非認知能力』の概念に関する考察」から図を引用

3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく

## 非認知能力の観点をを用いることでできること

では、非認知能力の観点をを用いると、どのようなメリットがあるのでしょうか？

### 専門学校教育が関係する多様な能力の言語化

これが、最大のメリット。  
いくつかの点について見ていきましょう。

- 職業において必要な能力の多面性を明確化
- 専門学校生の成長における多面性の把握
- 多様な学生の特徴・個性の把握



3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく

## 職業において必要な能力の多面性を明確化

### 1. それぞれの職業に必要な専門的な知識・技能



美容師

カット、シャンプー  
セット、カラーリング



ダンサー

ダンススキル、表現方法  
音楽知識

### 2. 実践的に求められる非認知能力



美容師

コミュニケーション能力  
主体性、共感性



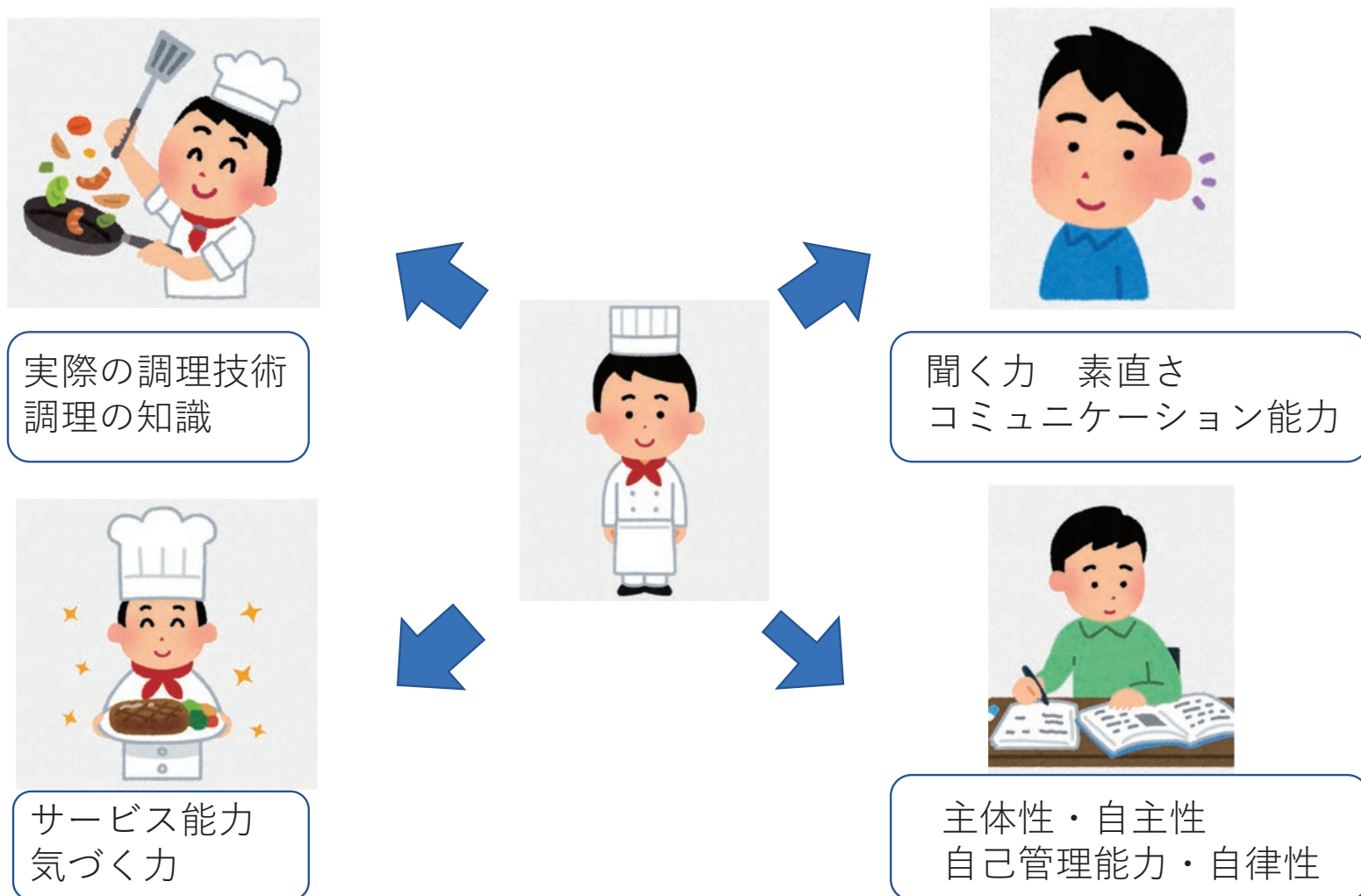
ダンサー

主体性、自己管理能力、協調性  
コミュニケーション能力

⇒ 2 のような意識しにくい能力を明確化できる

3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく

## 専門学校生の成長における多面性の把握



### 3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく

## 多様な学生の特徴・個性の把握



#### Aさん

- ・ 主体性・探求心が高く練習熱心
- ・ 規範意識に優れてリーダーシップもある
- ・ 自己管理能力もしっかりしている



#### Bさん

- ・ 同世代へのコミュニケーション能力が高い
- ・ チャレンジ精神と実行力がある
- ・ 自己管理能力に課題あり



#### Cさん

- ・ 高齢者へのコミュニケーション能力が高い
- ・ 共感性も高くて真面目
- ・ 実行力や積極性に課題がある

3. 非認知能力の観点で専門学校教育の「強み」を明確にしていく

## ワーク：質問と意見をぜひ！

いかがでしょうか？

- ・非認知能力とは？
- ・非認知能力の観点を用いることで、専門学校教育が関連する能力の多面性が把握できる。

上記の点について3節で説明してきました。

「納得した！」や「まだ、わかりにくい」という点あると思います。

理解を深め、意見交流のために、ここまでの感想と質問を、LiveQに送ってください（3分）

## 4. 教育改善に非認知能力の 観点を活かしていく

4. 教育改善に非認知能力の観点を活かしていく

## 非認知能力の観点を活かす方

### ○3節のポイント

非認知能力の観点を活かすことで...

**専門学校教育が関係する多様な能力の言語化が可能**

### ○4・5節のポイント

言語化することのメリットとは？

**4節：教育改善に活用できる**

**5節：社会的評価の向上につながる**

4. 教育改善に非認知能力の観点を活かしていく

## 教育改善への活用のポイント

非認知能力の観点で、専門学校に関わる多様な能力を言語化することを通して、教育改善として、以下が期待できます。

### ○人材像の設定・具体化の改善

2時間目に扱います

### ○教育課程編成の改善

### ○授業の目標設定の改善

### ○学習評価の改善



#### 4. 教育改善に非認知能力の観点を活かしていく

## 教育改善の具体的な利点・方法を知っていく

### 教育改善を進めることのメリットとは？

#### 観光系専門学校A先生

非認知能力を用いることで、学科として養成したい人材像が具体的にになり、教員間でもズレがなくなりました！

#### 情報系専門学校B先生

人材像が明確化するので、教育課程編成委員会でも、企業・業界側と、必要とする人材・能力について有益な議論ができます。

#### ゲーム・CG系専門学校C先生

授業での到達目標で、専門的スキル以外の能力を示すことができ、教員・学生ともに意識化できたと思います。

#### ダンス系専門学校D先生

「コミュニケーションが豊かになったね」、「自己管理能力がついたね」など学生の学びを多面的に評価することができるようになりました。

⇒具体的な方法を身につけ、改善に活かしていく！



## 5. 社会的評価の向上に 非認知能力の観点を活かしていく

## 5. 社会的評価の向上に非認知能力の観点を活かしていく

# 社会的評価の向上のポイント

非認知能力の観点で、専門学校に関わる多様な能力を言語化することを通して、社会的評価の向上として、以下が期待できます。

### ○自身の学校・学科の成果の可視化

- ・就職率や資格取得率以外の成果を可視化できる。
- ・学科の「強み」を企業や高校側にアピールできる。

### ○学べること・成長できることのイメージ

- ・高等教育機関への進路選択において、今後、「自分がどう成長できるのか」が大事なポイント。
- ・自分の成長イメージがわかりやすくなる。

5. 社会的評価の向上に非認知能力の観点を活かしていく

## 社会的評価向上のための具体的な方法

非認知能力の観点でデータを活用すると...

<K学園の事例>

非認知能力の観点での意識調査を実施。入学時点と卒業時点での調査比較、全国調査との比較を行うことで...

- 2年間の教育を通じての成長をデータに基づき可視化
- 全国比較でのK学園の成長度をデータに基づき可視化

「K学園▲▲学科では<△△>力の伸びが強み！」

「全国比較でK学園の<●●>力は高い！」

などのアピールが可能に

⇒方法を知って、社会的評価を向上させていく！

1時間目のまとめ

## ワーク：質問と意見をぜひ！

いかがでしょうか？

非認知能力の観点を用いることで

- ・ 教育改善に活かすことができる
- ・ 社会的評価の向上につながる

上記の点について4・5節で説明してきました。

「納得した！」や「まだ、わかりにくい」という点あると思います。

理解を深め、意見交流のために、ここまでの感想と質問を、LiveQに送ってください（3分）

**1時間目はこれで終了です。  
10分間の休憩の後、2時間目となります。**



# 2時間目

## 非認知能力の抽出・分類・構造化





# 2時間目の構成

1. はじめに
2. 育成する人材像から非認知能力を抽出することの意味
3. 学科で育成する非認知能力の抽出・分類・構造化の方法を知る—事例紹介を通して—
4. 非認知能力の抽出・分類に関するワーク
5. ワークの共有と解説
6. まとめ：育成像・人材像の先にあるもの

# 1. はじめに

学校（学科）で目指す「人材像」は  
具体化されていますか？

# 1. はじめに

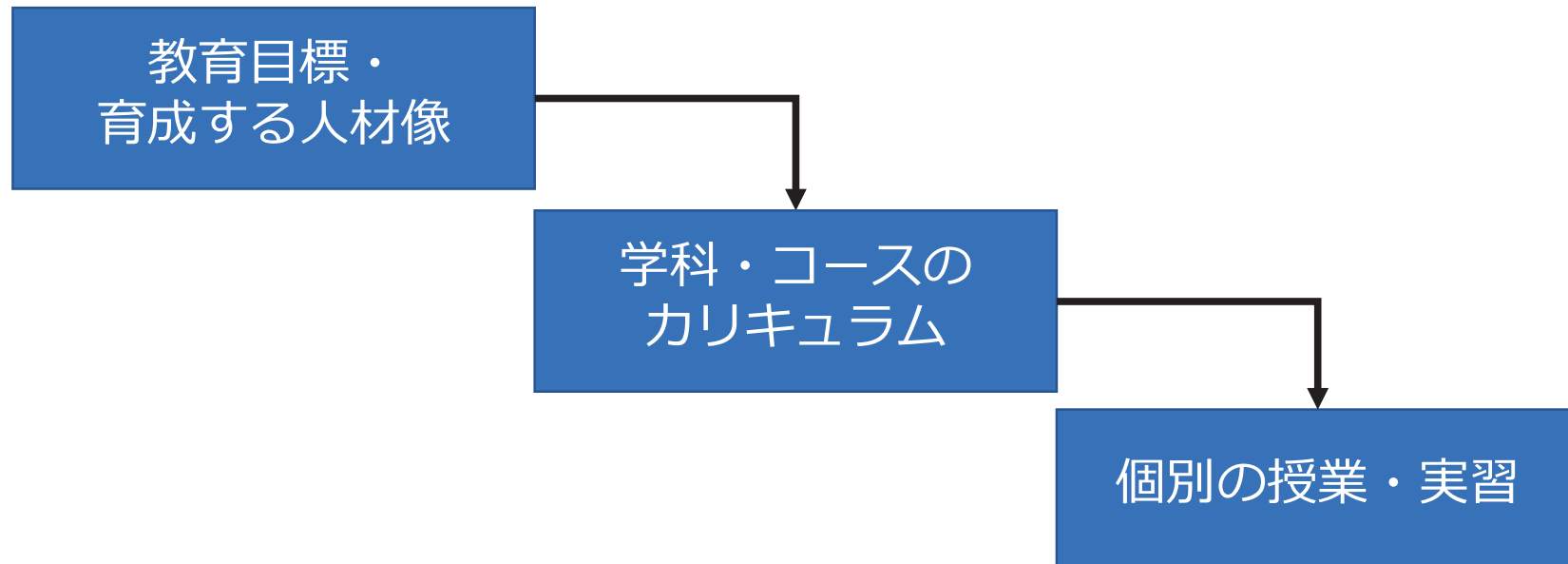
- 例えば・・・  
学校の「教育目標」や「育成する人材像」

⇒明文化されてはいるけど、  
抽象的でイメージしづらい・・・。



**具体的な言葉として表現しにくい！**

# 1. はじめに



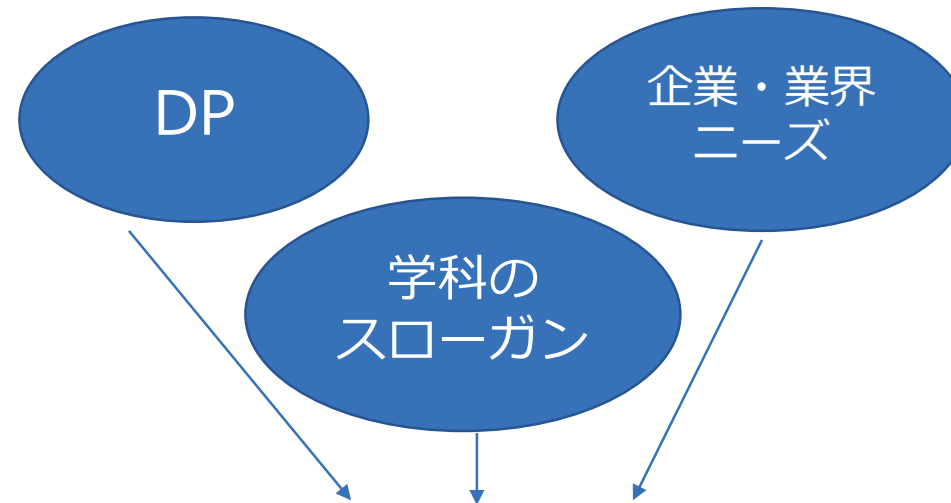
➡ **「個別の授業や実習を通して、どのような人材を育てたいのか？」が意識しやすくなる。**

## 2時間目の到達目標

1. 学科で育成する人材像を具体化していくための非認知能力の抽出をすることの意味について理解する
2. 学科で育成する非認知能力の抽出・分類・構造化の方法を理解できるようになる
3. ワークを通じて、非認知能力を抽出・分類するためのスキルを身につけられるようになる

## 2. 育成する人材像から非認知能力 を抽出することの意味

学科で育成する非認知能力の背景にあるもの  
～DP、企業・業界ニーズ、学科スローガンのすり合わせ～



**学科で育成すべき  
「非認知能力」**

DP、業界ニーズ、学科スローガンがすり合わされず、  
育成すべき力が学科間で共有されないと・・・



**学科で育成すべき力を言語化し抽出できていないと、  
各授業で求められる力や、授業の必要性を十分に説明できない！**



## 学科で育成すべき非認知能力が 言語化され、整理されると…

あなたの目指す職業では、〇〇力が求められます。〇〇力をつけるためには、\*\*\*の技能の繰り返しの練習が求められます。この授業は\*\*\*の基礎を教える科目になっています。だから、あなたにも必要な授業。しっかり受けてくださいね。

なるほど・・・  
大事な練習なのだと分かりました。がんばります！



**学科で育成すべき力との関係で、  
科目の重要性や教える知識・技能・態度の重要性を  
説明できる！**

非認知能力が言語化・整理されていないと・・・

学科のスローガンの意味は、（なんとなく）  
理解できているけど、私の授業ではどんな力を  
育成すべきなのか、どの部分を担っている  
のかは、正直ちゃんとうまく言えない  
な・・・



学科のスローガンに含まれる力が整理できていないと、  
自身の授業とスローガンの関係が見えにくい

## 学科スローガンと育成すべき非認知能力の関係が整理できると・・・

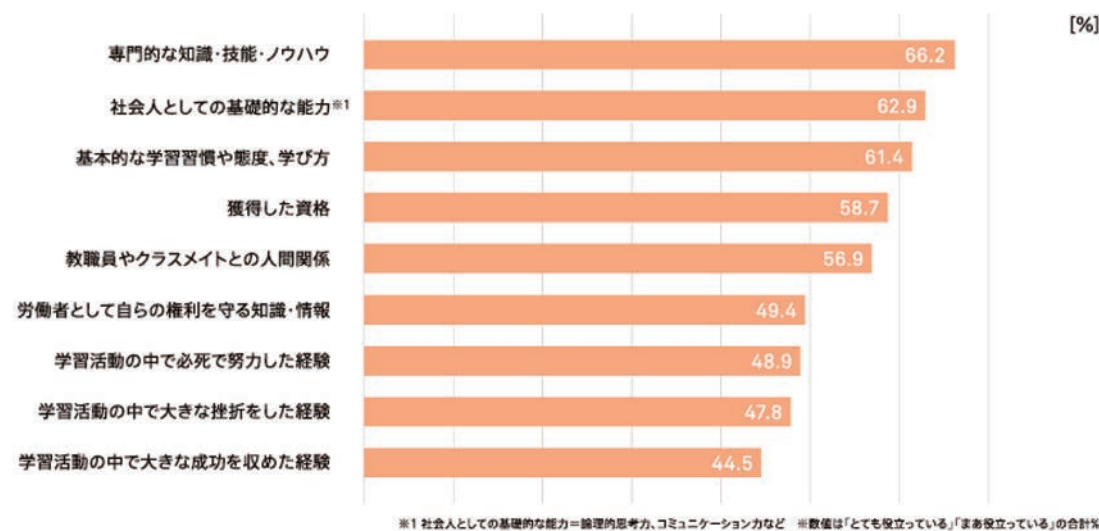
本学科では「○○」力を身につけさせるのがゴールで、この授業では「○○」力のベースになる「△△力」を育成するための授業だな。「△△力」の獲得を中心にした授業計画を立てればいいんだ！



 シラバスの作成や、授業計画にも役に立つ！

# なぜ非認知能力が重要か？

- 「職業教育」を広く捉えていくための観点として  
– 専門学校での教育は、単に「知識」や「技術」の注入ではない



専門学校教育の**強み**としての「非認知能力」  
を生かしていく！

### 3. 学科で育成する非認知能力の 抽出・分類・構造化の方法を知る —事例紹介を通して—

## 育成する人材像との関係で非認知能力を抽出・分類し 構造化するための重要な作業～

### 本日のワークで実施する作業

学科で育成したいと思う非認知能力の抽出



非認知能力を社会人基礎的な力  
・職業専門的な力に分類



非認知能力の構造図を作成

# 事例紹介の概要・目的

ホテルブライダル系学科・美容系学科に焦点を当てて、  
各学科が育成したいと思う人材像を明確化するためのツ  
ール開発のための調査を実施



調査を通して非認知能力を抽出・分類・構造化をするため  
のツール開発を実施

**調査実施校の非認知能力の抽出・分類・構造化プ  
ロセスの事例紹介を通して、ワークのイメージを  
持っていただく**

# 事例紹介①

～岡山情報ビジネス学院ホテルブライダル学科（OIC）の場合～

ホテルブライダル業界人材の育成にあたって  
「思いをかたちにする力」を学科スローガンに設定

学科が抱える課題

「思いをかたちにする力」の育成の在り方を教員間でいかに共有するか？

↓  
<「思いをかたちにする力」に含まれる非認知能力を抽出>

**表現力、観察力、協調性、  
素直さ、勤勉さ**





# 抽出した非認知能力の分類とその意味～ 職業専門的側面と社会人基礎的側面～

- **職業専門的側面**

その業界で求められる特有の非認知能力

例) 表現力：お客様の手足となる（ホテル業界）

お客様の思い描いていることを演出する（ブライダル業界）

- **社会人基礎的側面**

業界に限らず一般的な社会人になるために必要な非認知能力

例) 表現力：社会人としてのある程度の気遣い



業界人になるために必要な非認知能力、社会人になるために必要な非認知能力とに分類することで、どの授業でどの側面の育成をしていく（現在している）のかを整理することが可能！

# 学科が育成する人材像に含まれる非認知能力の抽出と分類 (OIC)

ウェート

表現力	職業専門的： ・ お客様の手足となる（ホテル業界） ・ お客様の思い描いていることを演出する（ブライダル業界）	<input checked="" type="radio"/>
	社会人基礎的 ・ 社会人としての最低限の気遣い	<input type="radio"/>
観察力	職業専門的： ・ 一瞬のあいだにいかにお客様の次の行動に気づけるか（ホテル業界） ・ 一人のお客様との関わりのなかで気づける個数をいかに増やすか（ブライダル業界）	<input checked="" type="radio"/>
	社会人基礎的： ・ 社会人としての最低限の観察眼	<input type="radio"/>
協調性	職業専門的： ・ 責任、役割認識、結果が求められるなかで培うべき協調性（ホテル・ブライダル）	<input checked="" type="radio"/>
	社会人基礎的： ・ 社会人としての、同じ目標に向かって作業をするチームワーク	<input checked="" type="radio"/>
勤勉さ	職業専門的： ・ 地道にコツコツと黒子的な働き方ができるかどうか。（ホテル・ブライダル）	<input checked="" type="radio"/>
	社会人基礎的： ・ 時間を守る、出欠、レポート期日	<input checked="" type="radio"/>
素直さ	社会人基礎的： ・ 言われたことをちゃんとやるかどうか	<input type="radio"/>

# 学科が育成する人材像に含まれる 非認知能力の構造図（OIC）

応用

職業専門的能力としての「表現力」

職業専門的能力としての「観察力」

職業専門的能力としての「協調性」「勤勉さ」

基礎

社会人基礎力としての  
「協調性」「勤勉さ」「素直さ」「表現力」「観察力」



# 非認知能力を構造化することの意味

1. 学科の人材像を明確化できる。DPとのひもづけについても検討可能になる
2. 教員：学生に対しどの授業でどの力を身につけさせるかイメージしやすくなる
3. 学生：どの力を身につけることが重要なのかをイメージしやすくなる



# 非認知能力の構造化の意味（2・3の補足）

～教員・学生にとってのメリット～

<入学時点での学生の社会人基礎的非認知能力を  
以下の例のように把握することができる>

協調性が高く、  
勤勉でもある



Aさん

マイペースだが、  
素直さがある



Bさん

コミュニケーション  
は苦手だが、観察力  
がある



Cさん

教員側：入学時点で持つ非認知能力を上記のように把握できると、各学生それぞれの育成課題を見つけやすくなる！

学生側：入学時点での非認知能力を把握できることで、在学を通じて自分がどれだけ成長できたかを考えやすくなる！

## 事例紹介②

～YIC京都ビューティー専門学校美容科（YIC）の場合～

美容業界人材の育成にあたって  
「就職したら美容師3年目」を学科スローガンに設定

学科が抱える課題  
どのような力を身につけさせたら「就職したら美容師3年目」  
の状態といえるか？

「就職したら美容師3年目」に含まれる非認知能力を抽出

表現力、コミュニケーション力、  
気づく力、柔軟性



# 抽出した非認知能力の分類

## ～職業専門的側面と社会人基礎的側面～

- **職業専門的側面**

その業界で求められる特有の非認知能力

- 例) 表現力：

自分のファッションや外見など自らの魅力を表現することができる力  
自分が作ったヘアスタイルを、適切にプレゼンテーションする力

- **社会人基礎的側面**

業界に限らず一般的な社会人になるために必要な非認知能力

- 例) 表現力：

サロン（就職希望先）の志望動機などを適切に述べる力

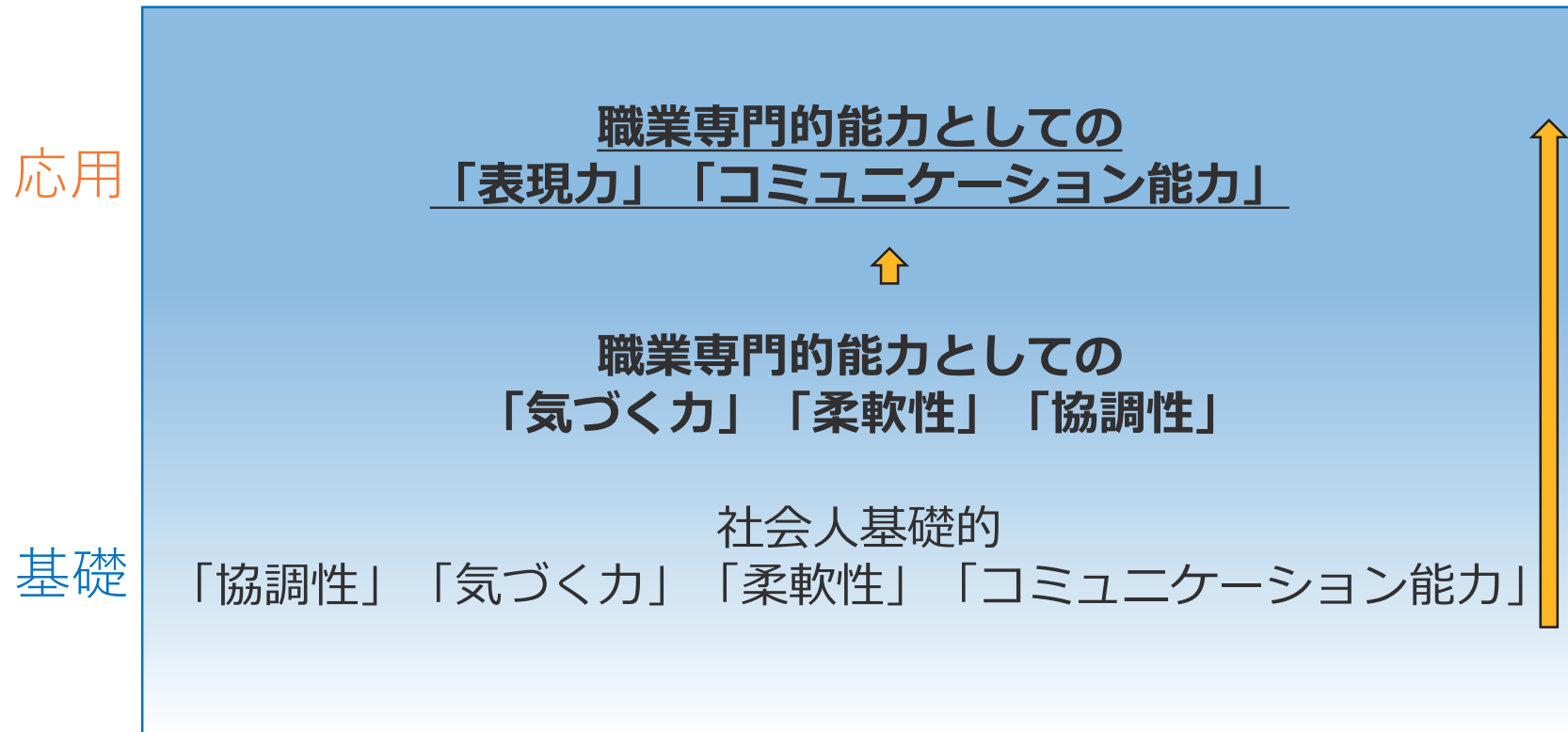
# 学科が育成する人材像に含まれる 非認知能力の抽出と分類（YIC）

ウェート

表現力	<b>職業専門的：</b> 自分のファッションや外見など自らの魅力を表現することができる力 自分が作ったヘアスタイルを、適切にプレゼンテーションする力 <b>・社会人基礎的</b> サロンへの志望動機などを適切に述べる力	◎
		○
コミュニケーション力	<b>職業専門的：</b> お客様の要望をしっかりとヒアリングしたうえで、相手の思っていることを誤りなく受け入れる力、誤りなくこちらの提案を伝える力。 <b>社会人基礎的：</b> <b>・</b> 他者の話をしっかりと聞くことができる力	◎
		○
気づく力	<b>職業専門的：</b> <b>・</b> お客様の行動を観察していく力。客観的に物事を考え、答えのないことに対して自分で課題を発見していく力。 <b>・</b> 先輩のしている作業を見て、指示される前に次何が求められるかを見極め、行動する力。 <b>社会人基礎的：</b> <b>・</b> 最低限の目配り・気配り	◎
		◎
柔軟性	<b>職業専門的：</b> 自分の欠点を指摘されたときに素直に受け止め、改善していくことができる。適応しながら、自分の意見も伝えていく力。 <b>社会人基礎的：</b> <b>・</b> 他者の指示に素直に従う力。	◎
		◎



# 学科が育成する人材像に含まれる 非認知能力の構造図（YIC）



学科が育成する人材像に含まれる非認知能力の構造図を作成する意味—企業との連携のうえで—

**1. 実習先の企業に、学科が育成している力、特に重視している力は何なのか説明しやすくなる**



## 学科が育成する人材像に含まれる非認知能力の構造図を作成する意味—企業との連携のうえで—

2. 学科が育成する非認知能力を基準に、各企業（サロン）がどの力を重視しているか右の図のように整理できる



**各企業が求める力の共通項を整理でき、企業ニーズを踏まえたカリキュラム編成を考えるにあたって役立つ！**

	A サロン	B サロン	C サロン
社・表現力		○	
職・表現力	○		◎
社・コミュニケーション能力	◎	◎	◎
職・コミュニケーション能力	◎	◎	◎
社・気づく力	○	○	
職・気づく力			◎
社・柔軟性	○	○	○
職・柔軟性			○

## 事例のまとめ

～育成する非認知能力を抽出・分類し、構造化する～

学科で育成したいと思う非認知能力の抽出



非認知能力を社会人基礎的な力  
・職業専門的な力に分類



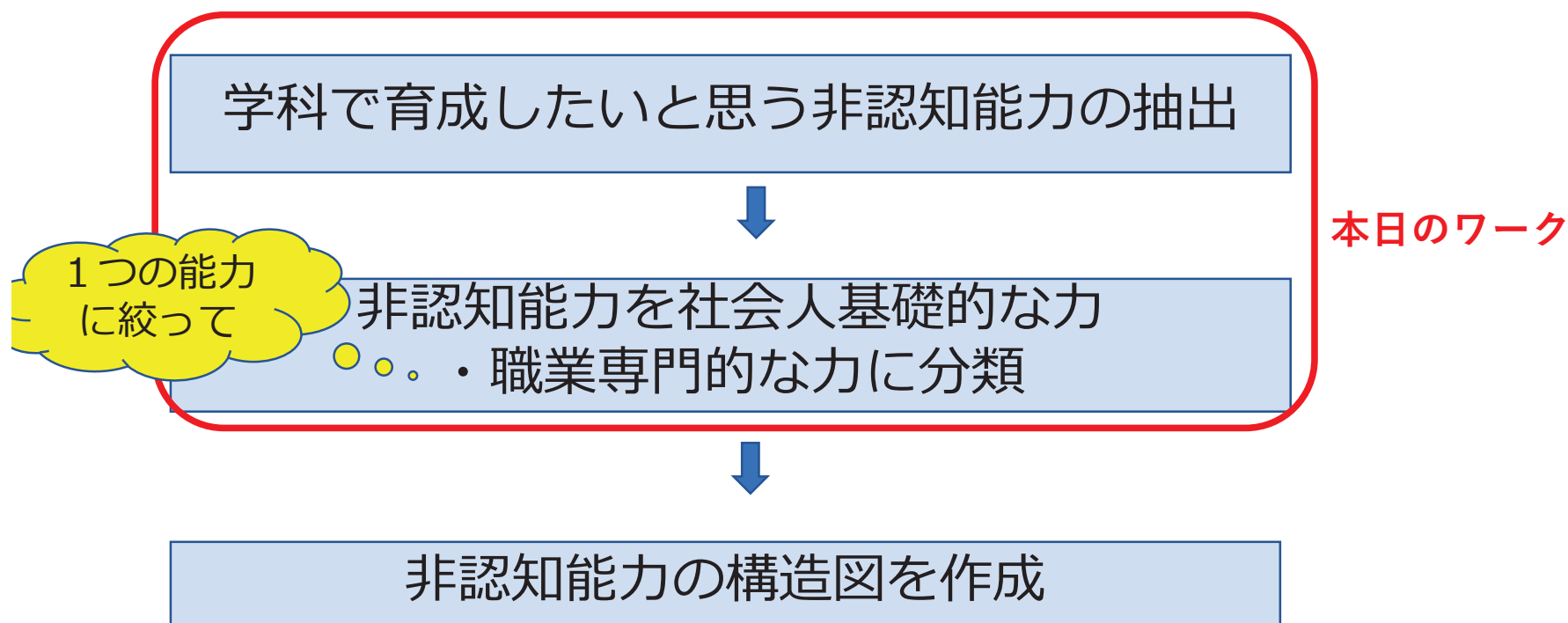
非認知能力の構造図を作成

## 4. 非認知能力の抽出と分類に関するワーク

# ワークの目的

- 学科で最も重視する非認知能力を1つ挙げていただき、それを職業専門的／社会人基礎的側面に分類することを通じて、学科で育成する非認知能力とは何かについて、学科内で共有できるようになる。

## ～育成する非認知能力を抽出・分類し、構造化する～



# ワークの流れ

1. ワークシートをグループで記入 (20分)
2. 非認知能力の分類表を記入 (20分)

## 配布資料

いずれもグループで1枚ずつ

- ・ワークシート1枚
- ・非認知能力分類表1枚

## 補足資料 (1人1枚)

- ・16の要素の図
- ・OIC,YICの非認知能力分類表とYIC場面イメージ表



# 1. 以下の内容をワークシート①に記入しましょう。

(1) 学科で重視している非認知能力を4～5つ程度挙げてください。

参考：日本生涯学習総合研究所が提示している16の非認知能力要素

(2) その中でも、最も重要な非認知能力を1つ絞ってください。

(3) (2) で挙げた非認知能力が最も重要である理由について具体例を交えて記述してください。

## ワークシートのイメージ

ワークシート  
学科 氏名

1. 学科で重視する非認知能力は？
2. 最も重要だと思われる非認知能力は？
3. 2で取りあげた非認知能力が重要である理由は？（現場で求められる行動などと引き付けて）

## 2. ワークシートをもとに「非認知能力の分類表」を作成しましょう。

①一番上の行に取り上げた非認知能力名を記入

②社会人基礎的側面、職業専門的側面をそれぞれ記入

## 非認知能力の分類表のイメージ

○○○	職業専門的側面
	社会人基礎的側面

参考：日本生涯学習総合研究所が提示している16の非認知能力要素

表3 能力の要素

<b>認知能力</b>	①基礎学力      ②基礎的な知識・技能      ③専門性・専門知識
<b>非認知能力</b>	④問題解決力      ⑤批判的思考力 ※1
	⑥協調性      ⑦コミュニケーション力      ⑧主体性      ⑨自己管理能力
	⑩自己肯定感      ⑪実行力      ⑫統率力      ⑬創造性      ⑭探究心
	⑮共感性      ⑯道徳心      ⑰倫理観      ⑱規範意識      ⑲公共性

※1:④ ⑤は、認知能力に区分される場合もある

表4 能力の要素の定義

	能力の要素	定義
認知能力	①基礎学力	・全ての学習を成立させるうえで必須の基礎的な知識や技能(例: 読み書き, 計算等, 教科等の独自の基礎的な知識・技能)
	②基礎的な知識・技能	・社会の変化や科学技術の進展等に対応するために必要とされる知識や技能
	③専門性・専門知識	・「基礎学力」「基礎的な知識・技能」をベースとした, 個々の特性に応じた特定の領域に関する高度な知識と経験
非認知能力	④問題解決力 * 認知能力に区分される場合もある	・論理的思考力の要素である「物事の意味を正しく捉え, 自分の理解度や対応できる範囲を把握したうえで, 問題解決に当たることができる力」をベースとし, 自分で考え, 本質的な問題を発見し, 解決策を立案し, さらに, それを臨機応変かつ適切に対応しながら遂行(実行し成果を出す)することができる力
	⑤批判的思考力 * 認知能力に区分される場合もある	・論理的思考力の要素である「主観的な事柄と客観的な事柄とを区別したうえで, 根拠に基づいて判断し, さらに, 筋道立てて考えることができる力」をベースとし, 他者および自分の考えに対して熟考し, 先入観にとらわれずに, 俯瞰的な視点から考えることができる力
	⑥協調性	・異なった環境や立場にある複数の他者と, 助け合ったり, 譲り合ったりして, お互いを尊重し合いながら, 同じ目標や目的に向かって物事を達成しようとする姿勢
	⑦コミュニケーション力	・お互いの気持ちや感情を理解・尊重し合いながら, 適切なタイミングや表現方法で自分の感情や意思を伝えたり, 受け止めたりして, 信頼関係を築くことができる力
	⑧主体性	・自分の意志や判断によって責任をもって行動する姿勢, および遂行しようとする意欲
	⑨自己管理能力	・自分の目標や目的を達成するため, または集団のルールの中で自分の役割を果たすために, 自分を律し, 管理し, 自己を分析することができる力
	⑩自己肯定感	・自分のあり方を積極的に評価できる感覚, および自分の価値や存在意義を肯定できる感覚
	⑪実行力	・「目的のために行動する力」をベースとし, 自分または集団の目標や目的の方向性を適切に見極めたうえで, 計画を立案し, 遂行することができる力

⑫統率力	・他者の行動を統制してチームを1つにまとめ, そのチームを率いてチーム全体の目標や目的の達成のために行動することができる資質や力
⑬創造性	・突然出現するものではなく, 長い年月を要する基礎的な努力に加え, 熱中して物事に取り組むことや様々な経験を積み重ねた結果として築かれるもので, 新奇で独自かつ生産的な発想を考え出すこと, またはその姿勢
⑭探究心	・物事の本質を捉えようとする姿勢, および本質や意義について, より掘り下げて見極めようとする意欲, および好奇心
⑮共感性	・他者と喜怒哀楽の感情を共有すること, またはそれらを感じ取ることができる感性 ・自然, 生き物に対する愛情や畏敬の念
⑯道徳心	・道徳を守る心 ・善悪を判断し, 善を行おうとする心
⑰倫理観	・人として守り行うべき道, 倫理(善悪・正邪の判断において普遍的な規準となるもの)についての考え方や捉え方
⑱規範意識	・道徳, 倫理, および法律等の社会のルールを守ろうとする意識
⑲公共性	・価値観が違うと思われる組織, 集団, 社会での自分の役割を理解し, その責務を果たそうとする姿勢

**記入例：実際の現場で求められる力を考える（YICの事例・職業専門的側面より）**

<p><b>表現力</b></p>	<p>ある企業では、Instagramフォロワー1000人以上といった条件をクリアしていないと応募できないところもある。3年目の美容師なら、発信力も求められる。</p>
<p><b>コミュニケーション力</b></p>	<p>「就職したら美容師3年目」に求められること・・・ お客様の要望する雰囲気をしっかりヒアリング・カウンセリングし、そのうえでコンサルテーション、最後に商談としてクロージングさせる必要がある。カウンセリング力が高いということは、売り上げが高いということ。</p>
<p><b>気付く力</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先輩のしている作業を見て、指示される前に次何が求められるかを見極め、行動する力。</li> </ul>
<p><b>柔軟性</b></p>	<p>サロンのやり方に柔軟に対応することが求められる。</p>
<p><b>協調性</b></p>	<p>先輩、上司の言葉を素直に受け止める</p>

# ワークの共有と解説

グループ間で、作成した非認知能力の分類表について、発表しましょう。



# 人材像、能力像の設定の先にあるもの (まとめ)

- 育成する能力像の明確化→人材像の明確化

非認知能力への着目



- 各授業における到達目標の明確化
- 学生の入学時の能力が卒業時にどこまで何が伸びたかの評価の実現
- 学生のレベルに応じた能力育成が可能
- 企業との連携実習における学科の育成する能力、企業が求める能力のすり合わせに役立つ

令和3年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」  
(2) 教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果②教職員研修プログラムの構築

## **学習評価（非認知能力）研修プログラム**

---

令和4年3月

一般社団法人 全国専門学校教育研究会  
〒107-0062 東京都港区南青山2-2-15 ウイン青山1403

●本書の内容を無断で転記、掲載することは禁じます。